



緊張しながらもしっかりと業務をこなしていました

一日司書を体験した
佐野さん(左)と西川さん(右)



図書館一日司書

4月18日、図書館で「子ども一日司書」の体験が行われ、黄金小学校に通う佐野凌斗さんと西川真央さんが参加しました。

これは、同日から始まった「2015春の子ども読書まつり」の一環で行われたもので、毎年市内の小学校に通う児童が体験しています。

浅水図書館長から任命書を受け取った2人は「緊張するけど、一生懸命頑張りたい」と意気込みを話してくれました。その後、職員に教えてもらいながら本の貸し出しや返却、本の整理などの業務をこなしていました。

ーリアリズムを学ぶー 「野田・永山塾」開講

4月5日、平成27年度絵画教室「野田・永山塾」の開講式が新しく整備された市アートビレッジ文化館大アトリエで行われました。昨年秋から市噴火湾文化研究所を改築してモーセ像とダビデ像の2体を設置。受講生たちは、格調高い空間に生まれ変わったアトリエで1年間リアリズムを学びます。市長から「世界一を目指す若い卵たちがこの場所で育ってくれば」との言葉をうけた受講生たちは、新しい空間で学べることに喜んでいました。



開講式の様子

「中体連でも全国を目指して頑張りたい」と力強く話してくれました



JOCジュニアオリンピックカップスキー大会で 準優勝！

3月26日～30日、岐阜県で開催されたJOCジュニアオリンピックカップスキー大会のアルペン競技スーパー大回転で伊達中学校1年生の間澤翔笙さんが準優勝に輝きました。

小学校5年生から本格的に競技を習い始めた間澤さん。シーズン中は毎日のトレーニングを欠かさず行い、初めて出場権を勝ち取りました。「緊張したが、いつも以上の力が出せた。本当にうれしい」と初の大舞台でも集中して競技に臨めたようです。

市民講座

「春からの野菜づくりビギナー講座」

4月16日、カルチャーセンターで市民講座「春からの野菜づくりビギナー講座」が開催され、15名が参加しました。

講師で市の農業普及指導専門員を務める金田光弘さんが、「野菜を元気に育てるためには土づくりが一番重要。土にも個性があるので、その特徴を知ることが大切。野菜の状態を常に観察し、何が不足しているのかを把握しましょう」と説明し、参加者は野菜づくりに適した土の作り方を学んでいました。



実際に物を使いながら説明する金田さん

菊谷市長から記念品を受け取る新入学児童



子どもたちの交通安全を願って —新入学児童への交通安全啓発—

4月7日、伊達小学校で新入学児童への「交通安全啓発」が行われました。

これは、子どもたちの交通安全を願い毎年行われるもので、今年も菊谷市長、伊達警察署長、伊達ライオンズクラブ、伊達地区交通安全協会などの関係者が学校の玄関前で交通安全を呼びかけました。

小雪がちらつく寒さの中、登校してきた新入生は「入学おめでとう」と交通安全の記念品を渡されると、「ありがとう」と笑顔で応えていました。



第28回 春一番 伊達ハーフマラソン大会

4月19日、「春の合宿村まつり・春一番伊達ハーフマラソン大会」が開催されました。

28回目を迎えた今大会も、ハーフマラソンなどの19種目に市内外から4,000名を超えるランナーが参加し、スタート地点のカルチャーセンターでは、早朝からウォーミングアップする参加者の姿が見られました。

午前10時50分にハーフマラソンがスタート。その後、小学校駅伝、車いす、10km、3km、5kmの順にスタートしました。晴天に恵まれたものの気温が上がらず肌寒く感じられましたが、参加者は伊達市の自然を体で感じながら、爽やかな汗を流していました。



合図とともに一斉にスタート



有珠山、昭和新山を見ながら
駆け抜けるランナー